

第1号様式

(第1面)

開発事業地球温暖化対策計画

事業者の氏名 又は名称	株式会社長谷工コーポレーション 代表取締役社長 大栗 育夫			
主たる事務所又は 事業所の所在地	東京都港区芝二丁目32番1号			
開発事業の名称	(仮称) 大師河原マンション計画			
開発事業を行う 土地の位置及び区域	川崎市川崎区大師河原二丁目2番			
開発事業の目的	共同住宅の新設			
工事の着手 予定年月日	2014年	3月	31日	
工事の完了 予定年月日	2016年	4月	1日	
開発事業の概要	区域面積	19697.62 m ²		
	床面積	47947.00 m ²		
主な予定建築物の内容	棟番号	用途	床面積	備考
	1	共同住宅	47947.00 m ²	
			m ²	
			m ²	
			m ²	
			m ²	
	床面積の合計		47947.00 m ²	

(第2面)

温室効果ガスの排出の抑制等を図るため実施しようとする措置の内容	エネルギーの使用の合理化	<ul style="list-style-type: none">・共用部分の照明、冷暖房、給湯等の設備機器は、可能な限りエネルギー消費量の少ない機種を導入する。・省エネルギー等級3相当の断熱材採用により、省エネルギーや冷暖房効率の向上に配慮するよう努める。
	ヒートアイランド現象の緩和	<ul style="list-style-type: none">・敷地内を極力緑化するとともに、高木、中木等の緑により木陰を創出し、舗装面の照り返しの軽減に努める。・敷地内の歩行者路等については、石、レンガ等の自然的被覆に近い材料を使用する。材料選定に関しては、浸透性舗装材の検討を行いヒートアイランド現象緩和に寄与するよう努める。
	交通環境への配慮	<ul style="list-style-type: none">・駐車場の出口と入口を分け、混雑が生じないよう配慮する。また、エントランス車寄せを分散配置し、出入庫時に車列を生じさせないよう配慮する。・駐車場等に看板を提示し、自動車やバイクの利用者に対し、エコドライブ（アイドリングストップ等の）励行等を促す。・公共交通機関の利用を促進する。
	緑地の保全と緑化の推進	<ul style="list-style-type: none">・植栽予定樹種については、可能な限り計画地の環境特性に適した樹種を選定し、計画地内においても日影地には耐陰性のある樹種を選定する。・植栽予定樹種は、花や紅葉等が見られる樹種を含め、季節感を楽しめる樹種とする。・植栽基盤の整備にあたっては、必要な土壌量を上回る量の良質な土壌を使用する。・緑の質の確保のため、施肥、除草・草刈等の適正な維持管理を行う。・高木、中木、低木、地被類を適切に組み合わせ、配植、密度を考慮した植栽を行い、多様な緑の創出、育成に努める。・計画地外周部の緑化及び機械式駐車場の周囲に生垣緑化を行う他、壁面緑化を採用し、計画地周辺の緑量感を創出する。

	工事に係る配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の時間帯に工事用車両が集中しないよう、工程等の管理や配車の計画を行う。 ・建設機械による負荷を極力少なくするために、施行方法や手順等を十分に検討し、建設機械の集中稼働を避け、効率的な稼働に努める。 ・建設機械及び工事車両は、低燃費型を積極的に利用し、燃料消費量を削減する。 ・建設機械の使用にあたっては、整備、点検の徹底を指導する。 ・建設機械及び工事用車両は、アイドリングストップ等のエコドライブ・省エネ機械操作を徹底するため、運転者への指導を実施する。 ・建設時に発生する廃棄物のうち、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に定める特定建設資材廃棄物について再資源化を行い、その他の廃棄物についても廃棄物の種類毎に分別・保管し、可能な限り再資源化を行う。 ・建設資材等の搬入に際して、過剰な梱包を控えるなどして、廃棄物の発生量を低減するよう努める。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・建設設計に際しては、ステンレス配管等の採用により設備的長寿命化を図り、リサイクルしやすい建材の採用に努める事により環境に配慮した計画とする。
再生可能エネルギー源の利用	検討結果	<input type="checkbox"/> 導入する <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない
	導入機器	

(第3面)

	棟番号	評価の目標
特定建築物の 評価の目標	1	総合評価 B+以上
備考		

- 備考 1 用途の欄は、次から当該予定建築物の主たる用途を記入してください。
[事務所/学校/物販店/飲食店/集会所/工場/病院/ホテル/住宅/その他]
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 特定建築物の評価の目標については、予定建築物が川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例(平成11年 川崎市条例第50号)第127条の4第1項の特定建築物に該当する場合、同項第5号に規定する環境性能の評価の目標について記載してください。